

必須研修プログラム

※全ての講義に形成的評価のための確認テストがついています。

※全ての職員の受講履歴を一括管理できます。

医療・患者安全

タイプA「ポジコ」 ポジティブコミュニケーションの切り口から事例動画で見せる

医師監修：元・国立がんセンター中央病院院長／公益財団法人ときわ会顧問 **土屋了介** 氏

監修：常磐病院 医療安全管理者 / 薬剤師 **仲本広世** 氏

解説：放送作家 / 日本初の漫才セミナー講師 Wマコト **中山真** 氏 / **中原誠** 氏

1 返事ひとつで人間関係が深化する	10 チームワークを高める意識改革	19 患者さんと一緒に確認
2 共通こそがお互いの距離をグッと近づける	11 愛され先生の廊下の歩き方	20 確認は頻繁にした方がいい
3 表情ひとつで安心感が生まれる	12 届ける際の一言掛け	21 ひとりで悩まず相談しよう
4 話し合いが上手い人のコツ	13 指示出しと指示受けで大事なこと	22 個人情報の会話は慎重に
5 陽口でみんなハッピー	14 こまめな声かけでトラブルを減らそう	23 多職種連携で仕事の質を高める
6 相手の心の扉を開く方法	15 講演会・勉強会で勇気を出して質問	24 「わかりません」が1番大事
7 ミスを報告しやすい上司になる方法	16 ほめ上手になろう	25 ルールがある理由を知っておこう
8 謝り上手になろう	17 ミスやエラーのとらえ方	
9 成長し続ける人の聴き方	18 メールでいきなり依頼は失礼かも	

タイプB「講義」

WHO患者安全カリキュラムガイドをベースにした医療・患者安全研修

各講義：20分程度

監修：京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 **松村由美** 氏

内 容	WHO患者安全カリキュラムガイド	講 師
1 患者安全の基本	患者安全とは	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 松村由美 氏
2 ヒューマンファクターズ	患者安全におけるヒューマンファクターズの重要性	京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター 特定病院助教 植野司 氏
3 安全文化の醸成	システムとその複雑さが 患者管理にもたらす影響を理解する	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 松村由美 氏
4 チーミング	有能なチームの一員であること	京都大学医学部附属病院初期診療・救急科/救急部 教授・部長 大鶴繁 氏
5 インシデント報告と分析	エラーに学び害を防止する	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 助教 加藤果林 氏
6 リスクの理解と管理	臨床におけるリスクの理解とマネジメント	京都大学医学研究科 医学教育・国際化推進センター 講師 山本憲 氏
7 品質改善の手法	品質改善の手法を用いて医療を改善する	京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター 助教 染谷真紀 氏
8 患者安全への患者参加	患者や介護者と協同する	京都大学医学研究科 社会健康医学系専攻 特定准教授 岡田浩 氏
9 コミュニケーション	患者や介護者と協同する	京都大学医学研究科 婦人科学産科学 助教 江川美保 氏
10 医薬品の安全管理	投薬の安全性を改善する	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 院内講師 山本崇 氏
11 心理的安全性と医療安全	有能なチームの一員であること	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 松村由美 氏
12 ダブルチェックの落とし穴	患者安全におけるヒューマンファクターズの重要性	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 松村由美 氏

必須研修プログラム

※全ての講義に形成的評価のための確認テストがついています。

※全ての職員の受講履歴を一括管理できます。

感染予防対策

各講義：20分程度

監修：埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 教授 岡 秀昭 氏

内 容	講 師	
1 感染予防対策の基本	埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 教授 岡 秀昭 氏	
2 感染対策に関する組織とルール	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏	
3 スタンダードプリコーション	埼玉医科大学 医学部 総合医療センター 感染症科・感染制御科 助教 川村 隆之 氏	
4 手指衛生と感染予防	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏	
5 感染経路別予防策	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏	
6 針刺し予防策と対応	埼玉医科大学 総合医療センター 総合診療内科 助教 西田 裕介 氏	
7 代表的なワクチン接種	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏	
8 ポストコロナ時代の感染症トピックス (2024年度まで配信)	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏	
9 感染症における経過の見方	2025年度 追加予定！	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏
10 2025年度 感染対策トピックス	2025年度 追加予定！	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏

災害対策

各講義：20分程度

監修：厚生労働省 DMAT事務局 事務局長 小井土 雄一 氏

内 容	講 師
1 病院における災害（総論）	厚生労働省 DMAT事務局 事務局長 小井土 雄一 氏
2 災害時の病院管理～CACSTTT	愛知医科大学 災害医療研究センター センター長/教授 津田 雅庸 氏
3 災害時の情報共有	愛知医科大学 災害医療研究センター 助教 柴田 隼人 氏
4 災害時の患者安全～いかに継続診療を提供するか？	地方独立行政法人神奈川県立病院機構本部 理事長 阿南 英明 氏
5 災害時の多職種連携のポイント～院内活動	厚生労働省 DMAT事務局 事務局次長 三村 誠二 氏
6 平時の災害対策～計画と準備	厚生労働省 DMAT事務局 事務局長 小井土 雄一 氏
7 地域包括BCP～地域での役割	愛知医科大学 災害医療研究センター 講師 高橋 礼子 氏
8 災害時のメンタルヘルス	愛知医科大学病院 看護部、愛知医科大学 災害医療研究センター クリティカルケア認定看護師/特定看護師 川谷陽子 氏

NEW!

必須研修プログラム

※全ての講義に形成的評価のための確認テストがついています。

※全ての職員の受講履歴を一括管理できます。

重症度、医療・看護必要度

各講義：20分程度

監修：関西看護医療大学 看護学部 看護学科 教授 **箕浦 洋子** 氏

内 容	講 師
1 概論・アセスメント共通項目	関西看護医療大学 看護学部 看護学科 教授 箕浦 洋子 氏
2 A項目の評価方法	関西看護医療大学 看護学部 看護学科 教授 箕浦 洋子 氏
3 B項目の評価方法	関西看護医療大学 看護学部 看護学科 教授 箕浦 洋子 氏
4 C項目の評価、まとめ	関西看護医療大学 看護学部 看護学科 教授 箕浦 洋子 氏

BLS

各講義：20分程度

監修：吉田学園医療歯科専門学校 救急救命学科 学科長 **三上剛人** 氏

内 容	講 師
1 医療者のためのBLSアルゴリズム	吉田学園医療歯科専門学校 救急救命学科 学科長 三上 剛人 氏
2 BLSスキルトレーニング	吉田学園医療歯科専門学校 救急救命学科 学科長 三上 剛人 氏
3 BLS実践	吉田学園医療歯科専門学校 救急救命学科 学科長 三上 剛人 氏

メンタルヘルスケア

各講義：20分程度

監修：筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学 准教授 **高橋 晶** 氏

内 容	講 師
1 支援者支援の考え方、ラインケア～病院としての対応	筑波大学医学医療系災害・地域精神医学 准教授 高橋 晶 氏
2 医療従事者が受ける衝撃的なストレス ～バーンアウトしないために	筑波メディカルセンター病院 精神看護専門看護師 木野美和子 氏
3 若手看護師のメンタルヘルス	順天堂大学医学部附属練馬病院 精神看護専門看護師 山口 久美 氏
4 看護管理職のメンタルヘルス	順天堂大学医学部附属練馬病院 精神看護専門看護師 山口 久美 氏
5 組織によるメンタルヘルスのラインケア	筑波メディカルセンターつくば総合健診センター 看護部長 光畠 桂子 氏
6 効果的なセルフケア ～心と体のストレッチマインドフルネスとコンパッション	慶應義塾大学健康マネジメント研究科 精神看護専門看護師 佐藤 寧子 氏

必須研修プログラム

※全ての講義に形成的評価のための確認テストがついています。

※全ての職員の受講履歴を一括管理できます。

チームビルディング

各講義：20分程度

監修：筑波大学 医学医療系 地域医療教育学/附属病院 総合診療科 教授 **前野 哲博** 氏

内 容	講 師
1 チームビルディング&リーダーシップ① チームビルディングの原理原則	株式会社テルメイク 大曾根 衛 氏
2 チームビルディング&リーダーシップ② リーダーシップの基礎	株式会社テルメイク 大曾根 衛 氏
3 コンフリクトマネジメント～今日から使える対応術	筑波大学総合診療科 福田 幸寛 氏
4 コミュニケーション～今日から使える対応術	筑波大学総合診療科 福田 幸寛 氏
5 フィードバック技法	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学/附属病院 総合診療科 教授 前野 哲博 氏
6 ミーティングファシリテーション① ファシリテーションの基本構造編	株式会社テルメイク 大曾根 衛 氏
7 ミーティングファシリテーション② 心構えと基本スキル編	株式会社テルメイク 大曾根 衛 氏
8 安全で効果的な技能教育	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学/附属病院 総合診療科 教授 前野 哲博 氏

ホスピタリティ

各講義：20分程度

監修：関西看護医療大学 看護学部 看護学科 教授 **箕浦 洋子** 氏

内 容	講 師
1 病院におけるホスピタリティ	関西看護医療大学 看護学部 看護学科 教授 箕浦 洋子 氏
2 病院職員のホスピタリティ	関西看護医療大学 看護学部 看護学科 教授 箕浦 洋子 氏
3 看護職員のホスピタリティ	関西看護医療大学 看護学部 看護学科 教授 箕浦 洋子 氏
4 ホスピタリティの実際	関西看護医療大学 看護学部 看護学科 教授 箕浦 洋子 氏

急変対応・予防

各講義：20分程度

監修：令和健康科学大学看護学部看護学科 教授 / 臨床シミュレーションセンター長 **増山 純二** 氏

内 容	講 師
1 患者急変対応時の院内医療体制	令和健康科学大学看護学部看護学科 教授/臨床シミュレーションセンター長 増山 純二 氏
2 患者急変対応フローチャート① 患者急変の病態変化と緊急性・重症度	令和健康科学大学看護学部看護学科 教授/臨床シミュレーションセンター長 増山 純二 氏
3 患者急変対応フローチャート② ABCDEアプローチ	令和健康科学大学看護学部看護学科 教授/臨床シミュレーションセンター長 増山 純二 氏
4 患者急変対応フローチャート③ 看護問題 急性増悪/合併症評価	令和健康科学大学看護学部看護学科 苑田 裕樹 氏
5 患者急変対応フローチャート④ 臨床推論	令和健康科学大学看護学部看護学科 苑田 裕樹 氏
6 患者急変対応フローチャート⑤ 救急処置・緊急検査・再評価・SBAR報告	令和健康科学大学看護学部看護学科 教授/臨床シミュレーションセンター長 増山 純二 氏

必須研修プログラム

※全ての講義に形成的評価のための確認テストがついています。

※全ての職員の受講履歴を一括管理できます。

2025年度 追加!

身体的拘束最小化

各講義：20分程度

監修：帝京大学 医療技術学部看護学科 教授 / 精神看護専門看護師 寺岡 征太郎 氏

内 容	講 師
1 身体的拘束最小化の基本的考え方（総論）	名古屋市立大学大学院 看護学研究科精神保健看護学准教授 / 精神看護専門看護師 桐山 啓一郎 氏
2 組織で取り組む身体的拘束最小化チームづくり	筑波メディカルセンター病院 老人看護専門看護師 石井 智恵理 氏
3 慢性疾患における急性増悪時の身体的拘束最小化の取り組み	日本赤十字看護大学 広尾キャンパス成人看護学准教授 / 慢性看護専門看護師 河田 照絵 氏
4 一般病棟における身体的拘束最小化をめぐる精神看護	名古屋市立大学大学院 看護学研究科精神保健看護学准教授 / 精神看護専門看護師 桐山 啓一郎 氏
5 身体的拘束最小化に取り組む看護管理者の役割	公益社団法人 石川県看護協会 会長 小藤 幹恵 氏

2025年度 追加!

意思決定支援

各講義：20分程度

監修：医療法人社団悠翔会 看護事業部長/悠翔会訪問看護ステーション東京 NPO法人楽患ねっと 副理事長
医療コーディネーター 岩本 ゆり 氏

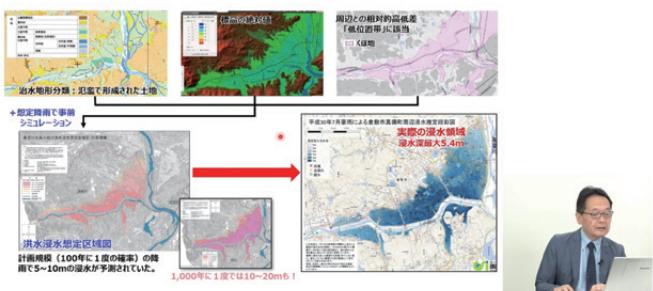
内 容	講 師
1 アドバンス・ケア・プランニングの基本的考え方（総論）	岩手保健医療大学 成人看護学 教授 臨床倫理研究センター長 三浦 靖彦 氏
2 意思決定支援の理解と活用	岩手保健医療大学 成人看護学 教授 臨床倫理研究センター長 三浦 靖彦 氏
3 意思決定支援の手順と方法	医療法人社団悠翔会 看護事業部長 / 悠翔会訪問看護ステーション東京/NPO法人楽患ねっと 副理事長 医療コーディネーター 岩本 ゆり 氏
4 患者・家族からの意思決定支援の相談事例（病院）	医療法人社団悠翔会 看護事業部長 / 悠翔会訪問看護ステーション東京/NPO法人楽患ねっと 副理事長 医療コーディネーター 岩本 ゆり 氏
5 患者・家族からの意思決定支援の相談事例（在宅）	医療法人社団悠翔会 看護事業部長 / 悠翔会訪問看護ステーション東京/NPO法人楽患ねっと 副理事長 医療コーディネーター 岩本 ゆり 氏

※講師の所属・肩書きは講義収録当時のものです。 ※内容は予告なく変更する場合があります。

講義イメージ

Step1.ハザード環境の把握（立地特性）

平成30年7月豪雨で51名死亡、1,200ha浸水、最大浸水深さ5.4mの倉敷市真備町



[災害対策]

病院における災害（総論）

厚生労働省 DMAT事務局長 小井土 雄一 氏

患者から暴力を受けた看護職員へのケア

3.ストレスを乗り越えるためには・・

- 無理をしないで
疲れたら休みをとる
- 軽い運動をする
- 深呼吸をする
- 楽しめたリラックスできる
ことを試してみる
- 睡眠や食事を規則正しくとることをこころがける
- 辛い気持ちや心を
一人で抱え込まず
信頼できる人・話
しやすい人に話してみる
- 考え方のくせに気づく

[メンタルヘルス]

医療従事者が受けやすいストレス（バーンアウトしないために）

筑波メディカルセンター病院 / 精神看護専門看護師 木野美和子 氏